

昭和57年7月1日発行

J.P.C



特集……57年度吹奏楽コンクール

No.16

打楽器アンサンブル

へのいざない

その6

塚田 靖

さて前回に引きつづき鍵盤打楽器の中のシロホン、マリンバについてお話ししましょう。まずみなさんは、マリンバとシロホンの区別がはっきりわかっていますか（大きさがちがうとか、パイプが長いとかいうのでは正しくありません）。この区別を、ここで少しはっきりしておきましょう。

最も異なる点は、譜Iを見て下さい。実音と記音が、一オ

譜I マリンバ



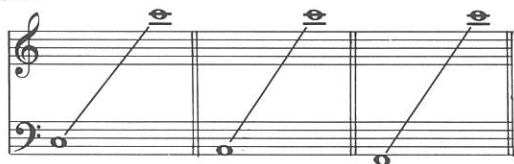
シロホン



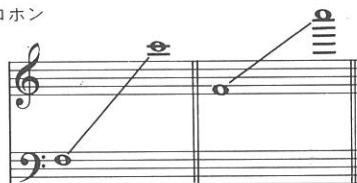
クターブちがうのがシロホン（英語ではザイロホンといいます）です。マリンバは、実音と記音が同じです。つまりピアノと同じだということです。この他にも細かい点ではいろいろ異なります。たとえば調律のし方が、少々ちがいが、シロホンの方が鋭い響きが出るように調律してあります（第5倍音がマリンバより多く響きます。）しかしここでは、あまり細かいことはおぼきます。次に音域も、マリンバの方が広く出ています（譜II参照）。つまり4オクターブのものが中心で、これより大きいものに4 $\frac{1}{2}$ オクターブ、4 $\frac{1}{2}$ オクターブのものなどあります。しかし小学校や、中学校などの教育用楽器といわれるものには、譜IIIのように3 $\frac{1}{2}$ オクターブとか、Fスケールといわれる譜IVのようなものもあります。

譜II

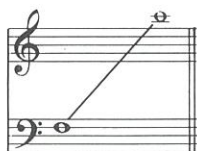
マリンバ



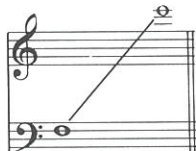
シロホン



譜III



譜IV



さてマリンバや、シロホンの鍵盤に使われている木はどんなものか、またどれがよいかということについて、ちょっと

話しておきましょう。かえで、カリン、ローズウッドなどが、主に使われています。この中で、最もよいとされているものが「ローズウッド」です。しかし、このローズウッドも、産地がいろいろあって、この産地により音色も大変異なるということです。どこの産地のものがよいのかということとは私はよくわかりませんが、価格の面では大差があるとのこと。ともかく今の日本のシロホン、マリンバは、世界のトップレベルにあると思います。

今まではいろいろな楽器の特长や選び方、マレット、スティックなどとの関係話を話してきましたが、今回からよいアンサンブルをするための、基本的な訓練について話して行きましょう。

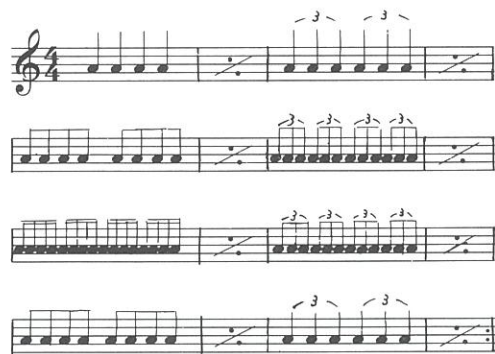
◎ウォーミングアップ

みなさん、ウォーミングアップというと、何を思い出しますか、ほとんどの人は、バチを持ってグルグル手首を廻したり、小太鼓や練習台などで、一ツ打ちをしたりすることを思い出すと思います。

もちろんこれも大切なウォーミングアップですが、もう一つ、大切なウォーミングアップもやして下さい。つまり、リズム感のウォーミングアップです。これはとても大切なことです。たとえば、5人のメンバーで何かアンサンブルの曲をやろうとします。この時にどのようなことを大切にしないてはいけないかということ、①それぞれに適したパートを受け持つこと、②各自が責任をもって、自分のパートが出来るように練習しておくこと（合せる前に）、③5人のメンバーが、同じようにリズムに対する感覚をととのえておくこと、以上が最も大切なことだと思います（もちろんこの他にいくつかありますが…）。

さて、①と②は、それほどむずかしいことではないと思いますが、③はとても大変です。人には顔の異なるのと同じ位、リズムに対する感じ方も異なります。たとえば譜Vのようなことをしても、5人が全く同じに出来るということはまずないでしょう。しかし、打楽器アンサンブルは、音の長さというのが、他の楽器のアンサンブルほど作れません。したがって、打点から打点への移り方と流れ方が、そのアンサンブル

譜V



の良否をきめてしまうといっても過言ではないと思います。（もちろん音のコントラスト、ダイナミック等もあります…）。この点のウォーミングアップもぜひ大切にして、5人の人の打点に対する感じ方と、「間」の取り方や、つなげ方などを互に知っておくことが大切です。今回はこの面でのウォーミングアップのし方から入って行きましょう。

Enjoy Percussion Clinic by J.P.C.



打楽器基礎クリニック

NHK交響楽団ティンパニ奏者である百瀬和紀氏を迎え、主にオーケストラと吹奏楽の打楽器の基礎となるティンパニ、スネアドラム、バスドラム、シンバルを中心にクリニックが行われました。

手拍子の打ち方から始まり、各楽器の基本的奏法、楽器の撰択、マレットとスティックの選択と幅広く説明して下さいました。

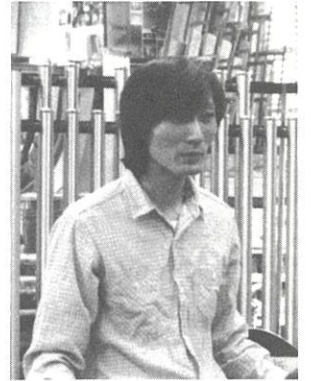
ティンパニマレットに関しては最低SoftとMediumとHardの3種類を持つことをすすめておられました。またオーケストラやブラスバンド内での他の楽器とのバランス、打楽器間のバランスのとり方に関しては、深く説明され、細心の注意を払うよう言われました。

当日は30人定員のところ50人以上の会員がつめかけ、先生も予定時間をオーバーして説明するという熱のあったクリニックでしたが、会員の質問はスネアドラムのロールに集中し、ロールの奏法に関しては誰もが苦勞していることがわるといった一面も浮かわれ、クリニック終了後もさらに先生を囲み質疑応答が行なわれました。



技術習得への道

5月9日、『ムクワジュ』でご活躍中の、定成庸司先生のクリニックが行われました。先生にはGROCKENやXYLOPHONEなどの鍵盤楽器のマレットの選び方や、TRIANGLEやTAMBOURINEなどの奏法を教えて頂いたあと、TIMPANや、SNAREDRUMの基本的奏法の講義をして頂きました。



先生が驚かれていたことは、最近では、アマチュアの人でもマレットを数多くの種類を持っているということです。

奏法のお話になると会員の方々から熱心な質問が続出。最後の一枚の壁につき当って悩んでいる人達が多いようです。そして鍵盤楽器の克服!!これに対する質問は、練習方法でした。鍵盤楽器の克服は万人の悩みのようです。そして、打ち勝つためには、地道な努力しかないのだ。とばかりに先生は、スケールと初見の練習を的確に積み上げていくようにとおっしゃっていました。

うららかな陽の射す5月の日曜日、和やかに行われたクリニック。会員の皆さまにも満足していただけたことと思われまます。



楽譜案内

Japan Percussion Centerライブラリアン「Miss Ishii」が選んだEnsamble及びEtude!! 第1回は「Elementary Percussion Ensamble」その1といたしまして、誰にでもできる簡単なアンサンブルをご紹介します。

- <2人>・DUET for SNARE DRUM and TIMPANI by THOMAS SIWE ￥375
- ・SARATOGA (Snare drum and Bass Drum) by HASKELL WHARR ￥375
- <3人>・FOUR HOLIDAYS by Harry Bartlett ￥1,050
- ・Congress is in session by Joe R. Taylor ￥1,800
- ・Rhythmischer spaß by paul Veit ￥1,365
- <4人>・TOM-TOM FOOLERY by Alan Abel ￥900
- ・Trommel-Quartett by Siegfried Kolbe ￥750
- ・SCHERZO by saul Goodman ￥900
- ・Percussionsmarsch Nr.1 by Toni Roeder ￥1,275
- <5人>・LATIN RESUME by THOMAS L. DAVIS ￥1,200

- ・MARCH HUMORESQUE by REX T. HALL ￥1,500
- ・KNICK KNACK FOR PERCUSSION by Fred M. Hubbell ￥900

- <6人>・Acoustic Suite by W. J. schinstine ￥2,700
- ・SIX LITTLE INDIANS by Vic Firth ￥900
- ・PERCUSSION PIECE by Ted petersen ￥1,200
- ・Yaqui Indian suite by Fred Hoey ￥1,200

★Etude紹介!

- ・スクールバンドのための打楽器教本 by 網代景介 ￥2,000
- ・SNARE DRUMMETOD book I、book II by Vic Firth 各￥1,050
- ・ティンパニ教本 by 網代景介 岡田知之 ￥2,500
- ・Elementary method Marimbaor Xylophone by H. M. PETERSON ￥800

★Percussion soloを始めようかなと思っている人へ!

- ・Studies for solo percussion by Ralph Satz ￥2,250

問い合わせ、ご相談は

J.P.C 845-3041-2 担当者 石井まで

課題曲の打楽器パートについて 一寸したアドバイス

—1982年度・吹奏楽コンクール課題曲から—

東京芸術大学助教授 有賀 誠門
東京音楽大学講師

吹奏楽のためのカプリチオ

6小節目のティンパニは、木管群のメロディーを歌いながら同じスピードで演奏して下さい。次のティンパニも同じくチューバと同じ歌い方をして下さい。㊦のティンパニは(↑)の音です。つぶれた音を出さない様にして下さい。5小節目のD、G音は明確に、そしてスタッカート奏法でしっかり音を消して下さい。(↑)(/)(↑)のところがバスドラムは軽くならない様に。13小節目からのスネアドラムは止めた音にならない様にして下さい。スネアのピッチは低目の方が良いでしょう。㊦のシンバルは軽く良い響きで演奏して下さい。ティンパニで、4小節目の3拍目のG音はアクセントを付けない様にして下さい。次の(↑)のG音も同様です。(↑)に入って4小節目のD音は軽くアクセントが付きます。バスドラムは決して急がない事。㊦のフレーズが㊦の前に3回出て来ますが、間の管楽器が増えて行くので、1回目から大きくしないで段々にしていった方が良いでしょう。㊦の3小節目前のグロッケン管は管楽器と呼吸を合せて下さい。㊦の3小節目からのグロッケン管は、カンタービレ。鼻歌でも歌う様な感じで演奏して下さい。㊦の初めのティンパニは音をつぶさない様にして下さい。6小節目のシンバルも choke になっていますが“カチン”とならない様に。バスドラム・タムタムはティンパニの半拍前の音を書いて良い響きの音を出して下さい。またティンパニはトロンボーンとずれない様にして下さい。最後の音は、ティンパニ、バスドラム、スネアドラム、シンバルが個別の音にならない様に気を付けて下さい。バスドラムはティンパニを包み、スネアドラムはその中にハモリ、シンバルの音でしまりを与える感じです。(↑)の記号は、目で見て感じる事の出来る表現方法の一つとして使用しています。

序奏とアレグロ

㊦の前のシンバルはppだからといって表面だけの音でなく、楽器を鳴らしてクレッシェンドして下さい。

ロールも速ければ良いというものではないので充分注意して下さい。㊦の頭の音から自然に木管楽器へ引き継がれる様にして下さい。㊦の頭は全員の息を充分合わせる事が大切です。㊦からのVibは良く歌って下さい。㊦のバスドラムは重要です。クレッシェンドをうまく受けて演奏して下さい。4小節目のバスドラムはニュアンスの違いに気をつける事です。8小節目も同じです。㊦4小節目からのバスドラム・シロホン、トムトムの掛け合いは正確に演奏して下さい。㊦7小節目からは、バスドラムの位置が逆になっている事に注意して下さい。㊦からのティンパニは音を消す事を忘れない様にして下さい。11小節目からのシロホンは安定したリズムで裏を打って下さい。㊦のバスドラム・シンバルのsfは(↑)の音です。㊦の7小節目からのサスペンド、シンバルは頭の部分と同じくシンバルを響かせて下さい。seccoは音をつぶさない様にして下さい。最後のバスドラムも充分鳴らして下さい。

アイヌの輪舞

最初のティンパニはいい音でソロして下さい。㊦のシンバル・ゴングもソステヌートでスピードを合わせていいソロして下さい。㊦の2小節目からのPerc 3はドラムセットの音より、コンサートバスドラムの音の方が良いと思われます。㊦からのTree Bellはウィンドチャイム代用の場合、少し早目に入る様になってしまおうのでうまく入れて下さい。㊦の2小節目は、低音楽器が無いので極端なアクセントはあまりしない様、軽いリズムになる様にして下さい。全体的に音色は色々工夫して下さい。

サンライズ・マーチ

頭のシンバルは太陽の様に、さわやかに演奏して下さい。バスドラムは地球の核の様に。㊦の5小節目のシンバルのシンコペーションは生かして下さい。スネアドラムは、チューニングに気を付けて楽しく演奏して下さい。軽快に元気よく演奏して下さい。そして明るく、さわやかに歩いて下さい。

コンクール課題曲 使用打楽器のアドバイス

[A] 吹奏楽のためのカプリチオ……吉田公彦

Player I……Timpani

ティンパニのサイズは29"・26"・23"で演奏可能ですが、音の余裕という点からいけば、32"・29"・26" (30"・28"・25")の方がよいでしょう。マレットは頭から6小節目と13小節目は、重く、やわらかめのものが良いと思います。(例 Vic Firth T-2. JPC.Soft)

Player II……Glocken. Tam Tam(ドラ)

グロッケンマレットは、プラスチックよりやや柔かめで、打撃音の少ないものがよいでしょう。(例Mike Balter 9A, 10A) ただ硬いものでも柔かい音を出すテクニックをつけましょう。音に幅がでます。カンタービレを忘れないようにしましょう。タムタムはあまり小さくない方がよいでしょう。できれば32"以上が良いと思います。(K.M.K32"~36")

Player III……Cymbal

サイズは18"位で、シンフォニックタイプのものでよいでしょう。chokeは響きを作ってから止める様にして下さい。

Player IV……Snare Drum

スティックは軽めのもので、音のたつものがよいでしょう。(例、Vic Firth SD-10) 乾いた感じの音を出すようにしましょう。

Player V……Bass Drum

B・Dのサイズにもよりますが、ピータは頭があまり大きく重くないものが良いと思います。(例、sato Medium)

[B] 序奏とアレグロ……(木下牧子)

Player I……Timpani

ティンパニのサイズは32"・29"・26"・23" (30"・28"・25"・22½")の4点が理想的です。マレットは[A]のあとと、[M]~[N]のところは、あまり柔らかくないものがよいでしょう(例 s.Goodman #2) [H]からはハギレの良い音色のものでよいでしょう。(例s.Goodman #5)

Player II……Glockenspiel Xylophone Vibraphone Triangle

スネアドラムに関しては、問題はないと思います。バスドラムのピーターは、あまり重くなく、1 pairで使った方が粒をそろえるためにも無難だと思います。

Player IV……Sus. Cymbal TomTom

Sus. シンバルのサイズは、16"位で薄目のものがよいでしょう。(Thin. or Med Thin) マレットはできれば[B]の前は、鍵盤用の糸巻きマレットを使用し[H]の後にはトムトムとかけ持ちの場合Timp用のマレットの(例s.Goodman #5)もののがよいでしょう。トムトムのサイズは10"・12"・14"位のものがよいでしょう。

Player III……Bass Drum Snare Drum

グロッケンマレットは[A]~[B]までタッチの音が耳障りではなく音は堅めの音のものでよいでしょう。(Mike Balter 9A(アルミ製) 10A(プラスチック)) [M]からは金属製(プラスチック)のマレットが良いと思います(Mike Balter 9(プラスチック) 9A)。シロフォンのマレットは堅めのプラスチック製のものが良いと思います。(例Mike Balter 10, sato黒マッサーM-5) ビブラフォンのマレットは糸巻の少し柔かめのもので堅く打たくと深みのある音がだせるとあります。(例、sato糸巻Med) VibをGlockenで代用の場合、これは金属製鍵盤楽器全てに使える事ですが、金属が厚く残響のながいものがよいでしょう(例saito SG-100) マレットは、ゴム製(Mike Balter) か糸巻の堅めが良いでしょう(sato糸巻Hard) トライアングルは音があまり高くないものがよいでしょう。(例Ludwig)

[C] アイヌの輪舞……(早川博二)

Player I……Timpani

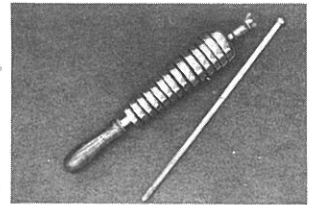
ティンパニのサイズは29"・26"・23" (28"・25" 22½") 韻を大切にすゝるゝに堅すぎないものがよいでしょう。(s. goodman #2・#3) ただ[C]と[E]はリズムを重視して、ハギレの良いものがよいでしょう。(s.goodman #5) 最後は「壮大に」という言葉に惑わされないように。あまり堅めではなく、1ランク下の(柔かい)マレットを使用した方がよいと思います。

Player II……Glockenspiel. Xylophone

グロッケンのマレットは、[A]の部分は木管群との調和を考えた場合、硬質のゴム製が良いと思います。(例YAMAHA #1010, sato青) シロホンのマレットは、[B]の5小節目と[H]の5小節目は糸巻や毛糸巻のマレットでマリンバの様に柔かい音色を作ると良いと思います。(例Mike Balter #13 etc)

Player III……Cymbal. Gong. Tree Bell. Tambourine

シンバルは18"か20"のものでサスティーンの良いものを使用して下さい。 Gongはffで打たいても音の割れないもので、できれば36"以上のものが望ましいと思います。 Tree Bellは輸入製品で(C.S製)の"ハンド・ベル・ツリー"を使用すると良いと思います。ソリッド式チャイム(通称ウインド・チャイム)を代用の場合鳴らすタイミングとミュートの仕方(音を止める時)が難しいと思われるので注意して演奏して下さい。(例、J.P.Cツリーチャイム¥18,000) タンバリンは、鈴の軽い、音色の明るいものがよいでしょう。(例、C.S製)



Player IV……Sus. Cymbal. snare Drum. Bass Drum

サスペンド、シンバルは、あまり大きくない16"位のものがよいでしょう。できれば2枚用意し、最後の4小節は18"位の大きなものを使用した方がよいと思います、16"だとffの場合、音が割れやすく、余韻も少ないためです。スネアドラムは、あまり明るすぎないで深みのある音でハギレを良くするために、少しミュートしてみると良いと思います。バスドラムは、アクセントがはっきり出せるもので、少し張りめにするとよいでしょう。38"~40"のものを使用する場合はミュートぎみで打つとよいでしょう。マレットはあまりやわらかすぎないものを使用すると良いと思います。(例、sato Medium)

[D] サンライズ・マーチ……(岩河三郎)

Player I……Glockenspiel

金属製のマレットを使用するとよいと思います。明るい音を出しましょう。軽く! (例、Mike Balter 9・9A)

Player II……Cymbal

サイズは16"か18"のものがよく、軽い音色のものがいいと思います。(例、A.ZIL 18" Med-Thin)

Player III……Snare Drum

ハギレのいい音で、マーチなので2台使用してみるとより一層メリハリがついて楽しく演奏できると思います、この場合、チューニングには注意して下さい。

Player III……Bass Drum

サイズは32"~40"位のものがよいと思います。この時、残響を少なく歯切れ良く演奏して下さい。ピーターは普通の硬さのものでよいと思います。(例、sato Medium)

<まとめ>

Glockenは質の良いもの(JPC No 15アンサンブルへのいざない参照)を揃えた方が望ましいと思います。いろいろアドバイスをいただきましたが、楽器の質もいろいろあります。所有している楽器を分析してみることが大切です。キーボードマレットはJ.P.Cセットがあればほとんど間に合うでしょう。(セット価格¥14,800)

編集: JPC 協力: 都響 白石元一郎

—J.P.C.サウンド・アップ情報—

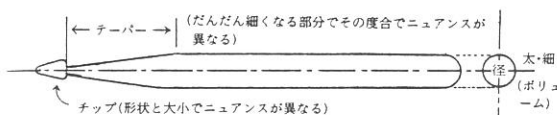
●スティック&ワイアーブラシ

スネアドラム用のスティックは、演奏目的に応じていくつかの種類のものを用意する必要があります。指揮者から「もっとデリケートなトレモロで!!」とか「クレッシェンドをたっぷり」と、「パンチの効いたアタックを」などと要求され、それなりに苦勞しても要求に応じるところまでいかない奏者の多くに、このスティックに対する認識不足が大きく影響しています。

そこで、演奏目的に応じたスティックの知識と選択のめやすを知る必要があります。

スティックは形状的に演奏と関係のある要素がいくつかありますが、それは下図のとおりです。

■チップ



大きく分けて ● ◀ ● ■ の4種類になり、各々の特長として、●は打つ角度が変化しても、打面に当たる部分がほとんど一定しているので、均等な音が得られます。製品としてはVic Firth, トムゴーガーなどがこのタイプを多く作っています。

◀の特長は打面が広く、非常にボリュームのある音を得る事ができます。ドラムセットを演奏するときシンバルビートを強烈に出すことができるので使用する人が多いようです。欠点として、角度によって、音色が異なりやすい為、細かい表現にはあまり向きません。製品ではグレッチ1A, ヤマハH14B, Vic Firth#11な

どがあります。

●のタイプはオールラウンドに使われています。スティックの主流はこのタイプが占めていて、表現しやすく、むらが少ないのでどのような演奏にも適しています。

■の特長は打面に対して点で当る為、他の3つのタイプより鋭い音を得ることができます。しかし、あまり一般的ではなく、少量で鋭い音を出すのに適しています。

また、特殊なものとして、チップ、テーパ無しのもがありますが、これは、ティンバレス用のやや細いもの、ロックミュージシャンがよく使っている太目のもので、通常はあまり使用しません。

■テーパ

次にテーパの度合ですが、長くかかっているものは、チップの振動を良く伝えるため、細かい演奏には適していますが、ダイナミックでかつシャープな演奏には不向です。また、逆に、短かく度合の少ないものは、ヘッドの振動に負けない為、演奏しやすく、音量も充分出すことができます。なお、バランスとしては、チップが重ければ細くても重く感じます。

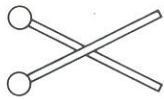
■選ぶ基準

最後に、スティックを選ぶ基準として、太いものは重め、細いものは軽めで、バランスが良いことは言うまでもありません。そして、平らな台の上でころがしてみ、そりやねじれないものを確かめましょう。特に練習用で使用する場合、ジェラルミンなどでできた細くて重いものは、手首を傷めることが多く、初心者には不向です。初心者に良いと思われるものとして、KMK-AA, C, ラディック2S, 3S, ロジャース3Sなどがあります。

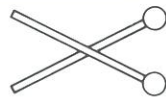
B.J.臨時増刊part-1より

JPCベストセラー・スティック

型番	スティック名	全長 (cm)	チップの形	チップの径 (cm)	テーパ (cm)	径 (cm)	1本の重さ (g) 平均	型番	スティック名	全長 (cm)	チップの形	チップの径 (cm)	テーパ (cm)	径 (cm)	1本の重さ (g) 平均
	<ビックファース>														
SD-1	GENERAL	41.3	○	1.1	5.1	1.6	60 g	8B	JAZZ	40.9	◁	0.85	8.0	1.4	45
SD-2	BOLERO	39.8	□	0.85	6.5	1.6	60	3S	CORPSMASTER	41.5	○	1.4	10.0	1.9	76
SD-3	THUNDER ROCK	42.5	○	2.0	11.0	1.8	66		ROCK	42.0	○	1.1	8.0	1.6	67
SD-4	COMBO	39.5	□	0.8	8.5	1.25	35		<リーガル>						
SD-5	ECHO	39.7	○	0.8	22.5	1.7	44		JAZZ	40.6	○	0.9	10.5	1.3	38
SD-7	WHACKER	40.5	○ (ナイロン)	0.9	10.5	1.5	46	5B	ROCK	40.5	○	1.05	10.1	1.4	50
SD-8	CHOPPER	40.5	○ (ナイロン)	0.95	10.3	1.5	46			40.5	○	1.0	10.5	1.5	63
SD-9	DRIVER	41.2	○	0.95	7.5	1.5	49	2B		40.5	○	0.95	10.0	1.6	70
SD-10	SWINGER	41.0	◁	0.9	10.3	1.6	51	3S		42.9	○	1.4	10.8	1.9	83
SD-11	SLAMMER	41.0	◁	0.9	10.5	1.5	48		<KMK>						
5A	AMERICAN CLASSIC	40.7	○	0.8	9.5	1.45	49	AA	練習用	42.2	○	1.5	11.5	1.9	98
7A	"	39.3	○	0.85	8.5	1.4	46	B		41.7	○	1.15	8.3	1.5	66
2B	"	41.3	○	1.1	9.0	1.6	59	C		40.8	○	1.0	9.0	1.5	60
5B	"	40.5	○	1.0	8.5	1.5	52	18		40.0	○	0.85	11.0	1.5	51
								18A		40.0	◁	0.9	12.5	1.5	46



J.P.C.マレットセット



新発売



パーカッション・グループ72代表 永曾 重光
玉川大学講師

J.P.C.がとても便利なものを出してくれました J.P.C.キーボード・マレット

この度、J.P.C.がとっても便利なものを出してくれた。

打楽器奏者にとって、バチの選定ほど重要で、かつめんどうなものはない。たくさんある楽器それぞれに合ったバチ、というだけでなく、一つの楽器でも、出したい音によって数多くのバチが必要となってくる。最初からたくさんバチをそろえることは、経済的にもたいへんだし、また、いらぬバチを買ってしまう危険性もある。だからといって、必要な時にそろえようと思っていたのでは、必要な時ほど忙がしく、なかなか買いに行けない等、うまくいかないものである。今回発売されたバチのセットは、これだけあればどのような場合でも一応間に合う、という小物パーカッション中心のマレットセットである。もちろんたったの5組であるから、それだけで完璧というわけにはいかないが、うまく使えば、まず他にバチはいらない、と言っても過言ではない。また、これをまず買って置き、次第に好みに合わせていろいろなバチを買い足していく、という方法もあるだろう。とにかく、便利なものがた！

- #1 グロッケン用のオールマイティ。少し短か目に持つのがコツ。アンティックシンバル、トライアングル等にも。
- #2 シロフォン、グロッケンの代表的なバチで、特にグロッケンの弱音の美しさを見ごとに表現してくれます。
- #3 #1とともに、このセット中の大ヒット。シロフォンにどうぞ。グロッケンでは軽い音が出せます。また、シロフォンの

代用としてマリンバに使っても、パーにほとんどキズが付きません。このバチで打った木鉦の音は、何といても最高。ボンゴにもどうぞ。

- #4、#5 マリンバ、ヴァイブ、サスペンデッドシンバル、木魚等、用途の多いバチです。好みに応じて、#4に毛糸や、レース糸を巻いてみるのも良いでしょう。

※この使い方にとらわれず、他にもいろいろ工夫してください。

音の表現が、かなり幅広くなると思います

J.P.C.ティンパニ・マレット

この度、J.P.C.から、ティンパニマレットが発売されましたので、先日、試奏してみました。その感想をみなさんにお知らせしましょう。

まず、ソフト、メディアム、ハードの3種類があり、柄もアルミのパイプを使用しており、その色もブラックのメタリックで、大変上品な色になっています。アルミの地色ですと、ステージなどのライトに反射してキラキラと光り、場合によっては、とても邪魔になることがあります。この点、しぶいメタリックになっており、細かい心づかいがうかがわれます。次に、シャフトは長目になっており、約40cmに作られています。私は普通、約36cm位のものを使いますが、人により少し短か目をこのむ人、長目がよいという人があります。(しかし、40cm以上のマレットを使うことはまずないと思います)そこで、もし長すぎる人は、シャフトの後ろの方にプラスチック製のグリップが取り付けられていますので、これをぬき取り、自分の使いやすい長さに金切りノコギリで、切って調節することができます。

さて、試奏してみた感じは、とてもよいと思いました。まず、メディアムの使用範囲がとても広いということです。p-fまでむりなく、しかも、幅広く音が作れ、堅目のはっきりしたアタックから、柔らかいppのロールまで使えます。

次に、ソフトは柔らかい音がよく作れました。私には、ややヘッドが軽いようにも思われましたが、中～小音量はとてもよい音が作れました。

ハードは、アタックもはっきり作れ、はげしい音も充分作れると思いました。

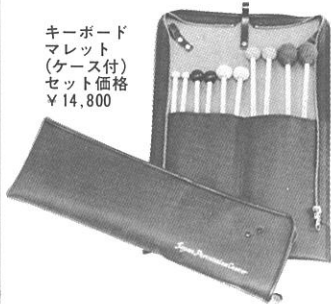
また、アルミシャフトを使っているので強さも充分あり、ヘッドのフェルトを取りかえさえすれば、何年も使用できると思います。

J.P.C.トライアングルピーター

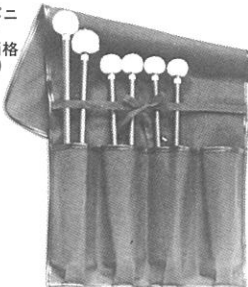
どういうわけか、トライアングルの本体には大変注意深くよい楽器を選んでいる指導者の方々も、ピーターのことになると、あまり神経を使っていない人が多いようです。このピーターは、クラリネットであれば、マウスピースや、リードと同じようなもので、同じ楽器でも、ピーターをかえるだけで、全然異なった表現ができます。一般に使われているものは、6.0-6.5mmの太さのものですが、これ1種

類では、うまくない場合が多いのです。私は、10年前位に、私の大学の学生と、大変苦勞して4種類のピーターを作ったことがありました。つまり、6.0、5.0、4.0、3.0mmの太さのものを作りました。このピーターの材質は、半鋼鉄材で、サグズや、クラリネットのキーを取りつけてある鉄ネジの材料です。つまり、あまり堅すぎても、普通の針金のように柔らかくてもだめです。10年前には大変苦勞して材料をさがし、17cm位に切断してもらったことを思い出しました。しかし、今度J.P.C.から、5種類(6.5、5.5、4.5、3.5、2.5mm)の太さのものがセットで売られ出されました。これは大変ありがたいことで、もし個人で、これだけのものをそろえようとする、たいへん苦勞されると思います。私個人としては5.5mmのものを最も多く使います。また、この細い方のピーターは、トライアングルだけでなく、サスペンダーシンバルを、「コスル」ような奏法の時にも、とてもよい効果があります。また、このセットは2本づつペアになっていますので、2本使用して演奏するような曲の時にも充分使えるわけです。これをうまく使用することにより、トライアングルの音の表現が、かなり幅広くなると思います。

キーボード
マレット
(ケース付)
セット価格
¥14,800



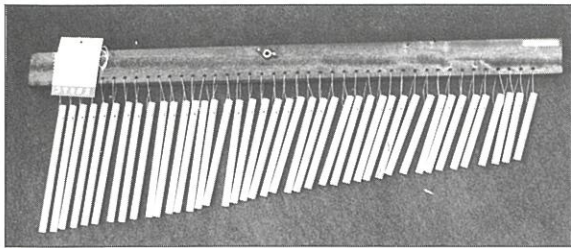
ティンパニ
マレット
セット価格
¥13,000



トライアングル
ピーター
(ケース付)
セット価格
¥3,500



全国各地有名楽器店でお買求めできます。



JPCマークツリー(ウィンドチャイム)

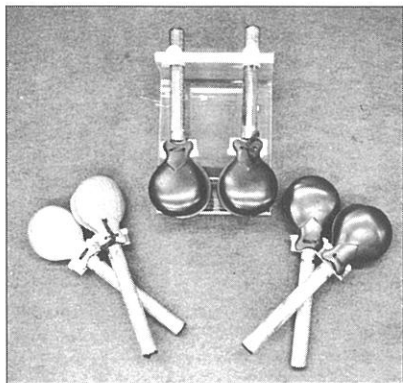
この度JPCより発売されたマークツリーは、材質にジュラルミンを採用することにより、軽やかで、そしてきらびやかな音色を出せます。42本のバーにより高音から低音の幅のある音域です。音楽にアクセントをつけるのに最適です。

¥18,000

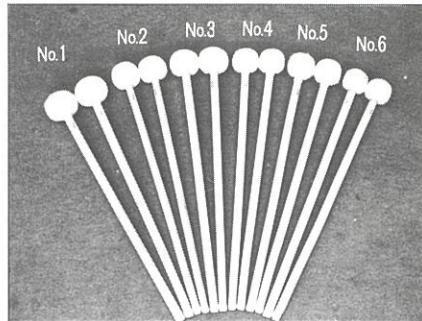
〈フランク・エプスタイン・カスタネット〉

ボストン交響楽団をはじめとし、世界の一流プレイヤーに愛用されている世界最高級カスタネット！エボニーとローズウッドの2種類があり、マシンオプションにセットするだけで、マシンカスタネットとしても使用できます。

エボニー(S) ¥32,000 (M) ¥33,000 (L) ¥34,000
 ローズウッド ¥25,000
 マシン ¥15,000



楽器紹介



EISOMODEL Timp マレット (永曾重光作)

No.	硬さ	頭の大きさ	よし)
No.1	Soft	大きめ	No.4 Medium 小さめ
No.2	Medium	中位	(※モーツァルト等に最適)
(※スタンダード・タイプ)			No.5 Hard 中位
No.3	Medium	少し大きめ	No.6 Hard 小さめ
(※第9の2楽章等、こ			(※PPの細かいきざみや、バロック等に最適)
こ一発という時のきめ手、			各1pr ¥8,000
No.2のかわりに使っても			

北インドの楽器 〈ダーク〉



北インド産で祭礼(カーニバル)の時によく使用され、鉦(かね)と一緒に踊りながら叩たきます。ちょうど日本の阿波踊りのように地面に足をつけて踊り、リズムはテンポのスローなサンバの様なものです。略してサンバ風阿波踊り。ダークはサンバでいうカイシャの役割を果します。



特別ご奉仕品

アイダ・コンサートスタンド#350、マレット、スティック、カバサ、マラカス等小物打楽器専用のテーブルスタンドです。物を置く時に出るノイズ防止としてテーブル表面をフロック加工してあります。小物類の紛失、破損防止、特に本番前の混乱時にきつとお役に立つと思います。特別ご奉仕品として下記のように販売致します。

ご奉仕期間：57/7.1~8.15
 (消印有効)

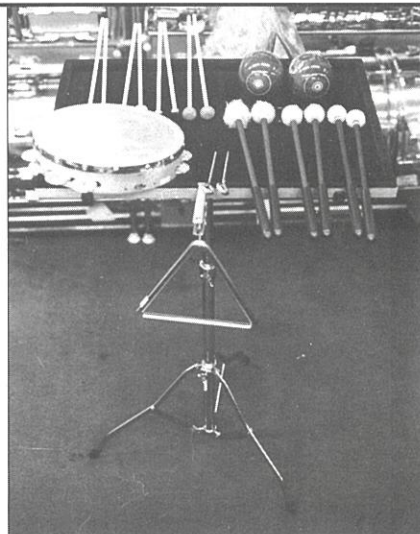
ご奉仕価格：定価¥15,000→
 ¥11,500 (送料別)

申し込方法：通信販売ご希望の方は、電話または手紙(葉書)で下記の事項を明記の上ご注文下さい。

①商品名 ②メーカー ③規格 ④数量 ⑤住所 ⑥会員No. ⑦氏名 ⑧TEL ⑨お支払方法

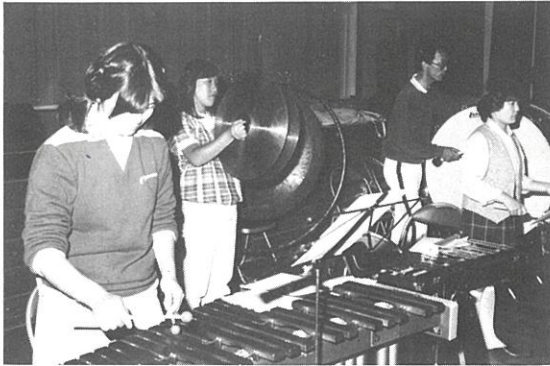
①現金書留②銀行振込③郵便振替のいずれか希望

●お支払いは品物の到着を確認の上、上記のいずれかの方法で1週間以内に完了して下さい。



“我らパーカッション”

このコーナーは、全国の吹奏楽団、交響楽団の打楽器パートだけの自己紹介の場として、色々と交流を深めて行きたいと思います。



○ 日立市民吹奏楽団(茨城県)

- A1: 高岡光昭(29) 小坂橋尚美(20) 豊田八十保(23) 太田由美子(18) 工藤典人(22) 桐原成江(17)
- A2: Timp(ラディックド레스デン)(ラディックマシーン)各26"29"(スリンガーランド)25"、28"、B.D(ラディック40"、36")、Cymb(AZIL20"、18")、S.Cymb(PAISTE 20"、AZIL18"、16")、S.D(ラディック)×3台(1台深剛)、Marb(ヤマハ) Xylo(ヤマハ)、Glo(ヤマハ)、チャイム(ディーガン)、コンガ・ボンゴ(ゴンポップス)、Drumsヤマハ(YD-9000)、ゴンク・ハイステ、エイトタム・パール、その他
- A3: 自分より優れた打楽器奏者全て
- A4: ルーバンク・モダンスクール・フィンガーコントロール、コレクションドラムソロ、
- A5: Yes(受けていた)
- A6: 塚田靖氏
- A7: Yes
- A8: 曲のイメージに合った音づくりとアンサンブルに苦勞している。特に若いメンバーは、テクニック重点の練習に走りやすいし、また各分野の音楽に対して許容量が小さい。
- A9: 当団は毎週火、木曜日に市民会館ステージで練習をしています。入団希望者をご遠慮なくどうぞ。パーカッションは、どんなローテーションを組んでも「それなり」にやりますが、どれを取ってもドングリです。



質問事項

- 1.氏名(年齢)
- 2.使用打楽器(ブランド名)
- 3.好きなプレイヤー(影響を受けたプレイヤー)
- 4.使用している教則本。
- 5.パート及び個人でレッスンをお受けていますか？(Yes. Noで)
- 6.Yesの方、先生のお名前をお書き下さい。
- 7.打楽器アンサンブルをやっていますか？
- 8.打楽器パートとしての問題点、悩みなど…。
- 9.打楽器パートか団のPRをどうぞ。

○ 所沢市民吹奏楽団(埼玉県)

- A1: 岩田輝代美(18) 小田野由香(17) 岩波香(20) 粕谷亜紀子(19) 上野尚久(20) 中井美香(18) 大館勉(29) 堀中雅寛(27)
- A2: S.D(ラディック) B.D(ラディック) Cymb(AZIL20"、16") S.Cymb(AZIL20"、18")、Timp(ラディックP.M29"、26"、23") Drums(パールP.X) チャイム(マッサー) ゴング(K.M.K36") Xylo(サイトー) Glo(プレミア) その他
- A3: 塚田靖、猪俣猛、ティトフエンテ、各氏
- A4: 打楽器教則本(全音) ティンパニ教本ファーストデビジョン(下) Elementary Method、小太鼓100曲集etc.
- A5: Yes
- A6: 年間1~2度 YAMAHA講師等
- A7: Yes(年1回程度、団内発表会として)
- A8: 一般バンドにはめずらしいと思いますが、人数が多く出席状況もよいので曲のわりふりがたいへんです。(ぜいたくな悩みか?) 誰でも、どの楽器でも演奏できることを目標にがんばっています。
- A9: 市内在住、在勤の高校生以上のメンバーで構成され(16~37才) 現在、約60名で活動しています。毎日曜日の練習を中心に春、秋の演奏会、合宿、各種行事への参加を通じて、お互いのチームワークづくりを図っています。学校にバンドのない君!、クラブと違う活動を期待するあなた! 社会人になっても楽器を捨てられない方! いつも大歓迎です。
- 連絡先: 所沢市元町27-1 斉藤修 ☎0429(22)2880



○ 長岡市吹奏楽団(新潟県)

- A1: 川崎譲(27) 小林美智夫(20) 柴崎直之(23) 土田桐子(?) 太刀川正一(22) 大平淳(19) 江口加代子(?) 神保進一(20) 齋藤英俊(25)
- A2: Timp×2対(ラディック)、B.D(ラディック)、S.D×2(ラディック・グレッチ)、チャイム(プレミア)、Glo(ディーガン)、Xylo(ヤマハ)、Drums(ヤマハ)、Cymb(AZIL)、その他
- A3: 特になし
- A4: 打楽器教則本、NARD等
- A5: NO
- A7: Yes(市販の楽譜、メンバーによる編曲)
- A8: メンバーの都合で、揃って練習することが出来ない。鍵盤楽器を揃えたい。
- A9: 我が団は、若いバンドで平均年齢は21才で創立当時はもっと若い17才位でした。段々高齢化が進み、我がパートも団で1、2位を争う高齢パートになってしまいました。気だけは若く、演奏会ではしゃぎ回っているしいです。

連絡先: 長岡市水穴町2-8
杉山 章 ☎0258-44-8249

★J.P.C・サマー・キャンプ★

タイトル:Body・Vibration体を振動させよう!

Action 1 (ICHI)

講師:有賀誠門、谷田部敬一、高田みどり
各先生他3名

'82課題曲と基本的なものを相互的に勉強し、恵まれた環境の中で思いきり体をのばし、打楽器アンサンブルの楽しさを理解するとともに素晴らしいパーカッションライフを楽しみましょう。

日程:7/22、23、24、25(3泊4日)

場所:西湖(山梨県)

対象:中学生以上、指導者(可)

参加料:1名¥35,000(受講料、食費込)

○原則としてスneaドラム+スタンド、スティック、マレット等は、各自持参して下さい。

※毎タゲストとして、オーケストラプレイヤー及びジャズドラマーを迎えて楽しいワンポイントレッスンをを行う予定です。御期待下さい。

申込み方法:申込書に必要事項記入の上、参加料を添えてお申込み下さい。

申込みメ切:昭和57年7月18日(但し、定員になりしだいメ切)

問合せ、申込先:〒114東京都台東区西浅草1-7-1 武藤ビル2F

J.P.Cサマー・キャンプ係

TEL 03-845-3041~2

郵便振替にて参加料送金の場合

口座番号:東京9-153115

加入者名:(株) コマキ楽器

昨年に引き続き、第2回サマーキャンプを以上の企画で開催致します。御賛同の程よろしくお願い申し上げます。

※受講者全員に、サマーキャンプのユニフォームとして'82J.P.C Tシャツを差し上げます。

J.P.C

J.P.C^{82'}オリジナル Tシャツプレゼント SALE

82' 6.25(金)10:00~19:30 8.7(土)

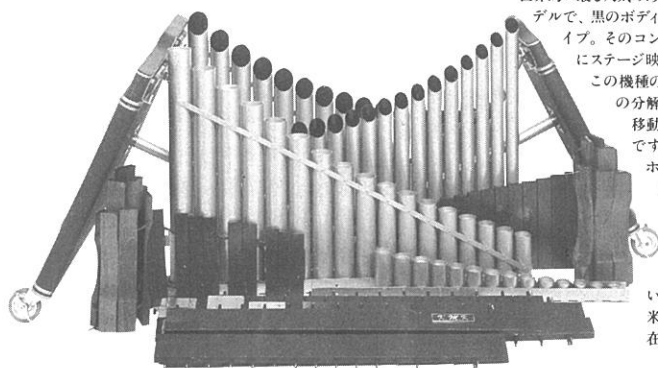
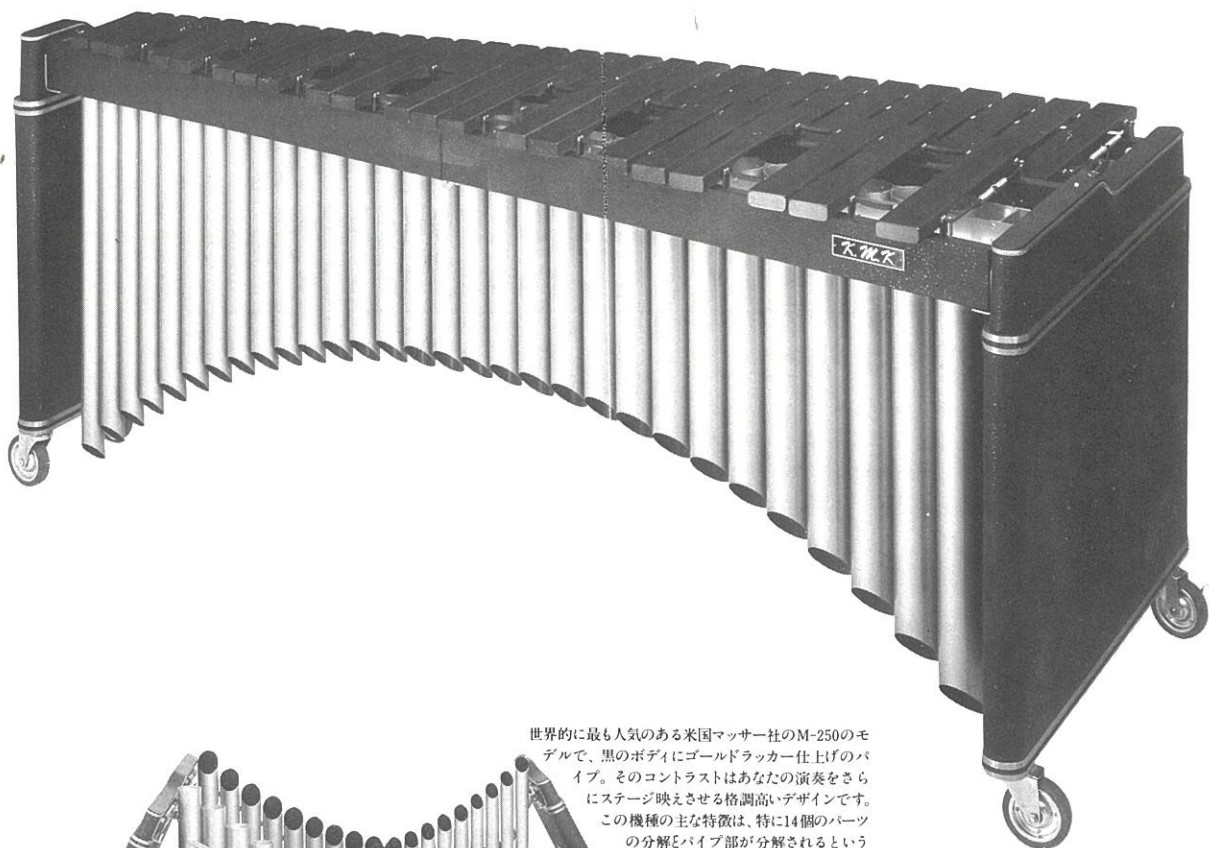
¥10,000以上お買い上げの方にJ.P.C^{82'}オリジナル Tシャツプレゼント!

- 通信販売の方にも商品と一緒に送付致します。お申し込み時にサイズ(S.M.L)をお知らせ下さい
- Tシャツご希望の方は¥2,200(会員¥1,600)にて販売致します。切手¥350同封の上お申し込み下さい。

ラテンクリニックなど
内容盛り沢山!!
乞ご期待

03-845-3041~2

ハンドメイドの高い技術に裏づけされ、 洗練された音を見事に表現するK.M.K. マリンバ。

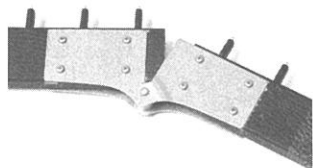


世界的に最も人気のある米国マッサー社のM-250のモデルで、黒のボディにゴールドラッカー仕上げのパイプ。そのコントラストはあなたの演奏をさらにステージ映えさせる格調高いデザインです。この機種の主な特徴は、特に14個のパーツの分解とパイプ部が分解されるという移動操作性に重点がおかれている点です。また鍵盤は厳選された最高のホンジュラス・ローズウッド材を使用。最近特にご要望の多いA=442のピッチで調律されておりすばらしい音色と音量は、本邦最高級品とご使用いただいた方々から讃辞をいただいております。そして、同機種は米国でKORIというブランドで現在爆発的な人気を得ております。

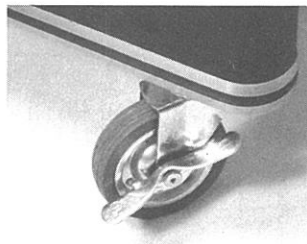
●標準小売価格 ¥648,000
●免税価格 ¥596,000

●規格：A₂~C₇ 4 $\frac{1}{3}$ オクターブ
A=442ピッチ仕上
●鍵盤：ホンジュラス・ローズウッド材使用
●全長：207cm
●巾：高音部37cm、低音部87cm
●高さ：高音部89cm、全音部86cm
●鍵盤巾：66mm~40mm
●鍵盤厚さ：25mm

●本体は(写真)の様に14個のパーツに分解することができ、小型乗用車で楽に運搬することができます。パイプはジュラルミン製で中央部分から2つに分解することができます。



●4本の各支柱は、中央部分より特製蝶つかいにて折り畳むことができ運搬に非常に便利です。



●ストッパーの付いた直径10cmの大型車輪の使用で本体の移動は非常にスムーズに行なえます。

ジャパンパーカッションセンター

〒111 東京都台東区西浅草1-7-1 武藤ビル2F ☎東京03(845)3041(代表)~2

共鳴板 (会員の事)

4月19日

今年は音大生として、このパーカッションセンターに来ました！今までは高校のプラスの Perc. でこのお店にバチ類など買いに来てましたが、晴れて音大生として、ここに連れてとても感激です!!! これからずっと長いおつきあいになりそうです。J.P.Cさんよろしく！

人間の山の中のせい子♡

(こちらこそ、よろしく……)

5月2日

初めてやってまいりました逗子開成高の石川クンです。エー皆様も知っての通り開成は昨年、コンクールで金賞をとりました。それも全国大会で……ムフ！まァ今年もなんとかやるっきゃないのやりませう。2年後はぼくのテンカだ。石川高士、イシカワ・タカシをヨロシク。

5月2日

1年ぶりにやってきました逗子開成の根岸です。やっぱしJ.P.Cにあるティンパニはいい。あれ欲しいと思いますけど金欠で——。

でももうすぐDrum Setを買います。……でも！まァ石川くんは頭はクルクルですが、ウデはたしかです。うちのPerc.は大丈夫でしょう。アッコレJ.P.Cにはのせないで下さい——。

(根岸クン……アマーイ！これを載せないで、どれを載せるんだ、ワハハハ……！独断と偏見の編集者なのだ)

5月18日

今日はスネアのケースを見に来たのですが、まだまだJ.P.Cを見て勉強したいことが沢山あるのに気づきました。もうこれから2年生として甘えられないから、部の中で一番いいパートと呼ばれるぐらい頑張るつもりです。神奈川県立市ヶ尾高 女子。

◀JPCだより▶

●ジョージ川口、カーネギーホールへ！

この度、世界的な催しであるニューポートジャズフェスティバルに参加が決定し、その最終日を飾るファイナルコンサートを「世界の大家」と共に、米独立記念日にあたる7月4日、ニューヨークカーネギーホールにて競演することになりました。



(昨年のJPCサンパチチーム)

●今年も8月7日、浅草サンパカーニバルが開催されます。つきましては、J.P.Cサンパチチームメンバーを募集致します。官製ハガキに住所、氏名、電話番号を明記の上、サンパチチーム係までお送り下さい。尚、メンバー応募の方には個々に詳細を御連絡致します。

(チーム名も募集中！)

●会費未納の方は、郵便振込みか、事務局まで御持参下さい。尚不明な方は事務局まで御連絡下さい。郵便振込の場合：郵便局口座番号 東京9-153115

加入者名(株) コマキ楽器

●82'打楽器価格表(定価¥500)ができました。会員の方には無料にてさし上げます。同封の引換券を御利用下さい。尚、郵送御希望の方は 350円切手同封の上、ご請求下さい。

●休業のお知らせ

7月23日、8月13、14、15日は、J.P.C.コマキ楽器両店とも休業させて頂きます。

●次号のお知らせ

プレミア、ゾノールドラムセット徹底解剖と銘打ち、一流ドラマーのインタビューを加え特集致します。乞、御期待！

編集後記

今こちらは梅雨の真只中、うつつという雨・雨・雨……。北海道には梅雨がないとか、J.P.Cの編集も北海道でやったらすぐ進むのに——と夢物語はさておき、ここは東京、クーラーをこよなく愛しながらの編集後記。

さて、今年も吹奏楽コンクール課題曲特集を組みました。ご参考にして頂ければ幸いです。近年音楽界でも打楽器は、その表現力などで注目されていますが「打楽器のうまいところ、コンクールを征す」という言葉もあるとの事。いよいよ、我らパーカッションセクションの出番です。プラス(+)今年も浅草サンパ・カーニバルへの参加も決まり、J.P.Cサンパチチームとして大軍団を送りこむ予定です。こちらもいよいよ練習開始！当日参加も大歓迎。夏休みの一日、一緒にサンパッチてみませんか？ 82サマーはエンジン・パーカッション・ライフ!! そして、この会報を出した後はJ.P.C.Tシャツを着て、思いっきり海に行くんだ。ワイイ！ (親)

昭和57年7月1日 発行

発行所 J・P・C事務局

〒一〇 東京都台東区西浅草一七七一

(武藤ビル2F)

電話 〇三七八四五―三〇四一(代)

郵便番号 東京九一―五三一―五

加入者名 (株)コマキ楽器